

資料 5 - 4
令和8年2月25日
第3回台東区障害者
地域自立支援協議会資料

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
基本目標 I 共生社会実現に向けた取り組みの推進			
施策の方向性1 障害への理解及び差別解消の推進			
施策1 障害への理解及び差別解消の推進			
1	2 障害への理解促進、意識啓発	学生（小学生～）への障害理解促進をすることで、将来就労する際、福祉業界も選択肢にいれてもらえる様、教育等進めてほしい。	相談支援部会
施策2 虐待防止・擁護者への支援の実施			
2	5 各関連機関と障害者虐待防止センターとの連携	一方的に受講するような研修だけでなく、もう少し踏み込んだ内容のものを展開して欲しい。職員の疲弊が虐待を生んでいるケースが多い中、当事者に寄り添った制度だけでは益々動きづらい環境を作り出している。仕事の効率化を福祉業界ではない一般職から学ぶことで福祉業界を変えて行ければと考える。※コーディネーターの派遣など	相談支援部会
施策の方向性2 情報アクセシビリティの向上及び障害者の意思疎通支援の充実			
施策1 情報アクセシビリティの向上			
3	10 障害者のデジタル・ディバイド解消の推進	気軽に携帯ショップに行けない方が多く、通所先での携帯の相談が多い。当事者が気軽に相談できる仕組みを作ってほしい。講習会案内を回してくれば事業所で案内できる。また、犯罪に巻き込まれないための予防知識も伝えたい。	くらしの部会
施策3 多様な意思疎通手段の理解と利用の促進			
4	21 選挙における投票環境の整備	投票に行きやすいよう当事者向けの案内を出してほしい。具体的に想像しやすいようなイラストで表現するなど。	くらしの部会
5	21 選挙における投票環境の整備	郵便による不在者投票の周知をしてほしい。外に出られないのは身体障害（内部障害）だけでなく精神障害も同じである。	くらしの部会
6	21 選挙における投票環境の整備	投票所での意思疎通の方法について、ある程度一緒にいる家族や支援者に聞き取りをするなど、その人に合わせた方法をとってほしい。	くらしの部会
7	23 図書等の宅配サービス	福祉事業所にも宅配してほしい。	くらしの部会
施策の方向性3 誰もが平等に参加できる社会の推進			
施策1 地域福祉の推進			
8	25 地域活動に参加しやすい環境の整備	イベントに行きたくても移動支援のサービスが受けられない状況にある人が多い。	くらしの部会
9	26 地域活動や区行事への参加支援	ご利用者をつれていきたいが、人材不足のため安全にお連れできない。【NO.81（人材確保・定着に向けた取り組みの推進）及びNO.82（資質向上に関する研修等）とつながる】	くらしの部会
10	26 地域活動や区行事への参加支援	地域活動や区行事への参加の際、移動支援を使うことが多いが、片道はボランティアやタクシー、片道はヘルパーを使うなど個別案件によって柔軟な対応ができるようにして欲しい。	相談支援部会
11	27 福祉イベントへの支援	みんなのひろば祭のような地域で活動している団体が集まるイベントは大事な取り組みだと思う。たとえば北上野施設を使って全体でやるなど、障害分野に限らず開催への検討をしてほしい。	相談支援部会
12	27 福祉イベントへの支援	利用者をつれていきたいが、人材不足のため安全にお連れできない。【NO.83（事業所への指導検査）とつながる】	くらしの部会
13	28 「みんなのひろば祭」への支援	ご利用者をつれていきたいが、人材不足のため安全にお連れできない。【NO.84（ヘルパーの養成促進）とつながる】	くらしの部会

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
施策2 障害者団体自主活動支援、文化活動支援			
14	29 障害者団体の自主活動への支援	休業日を使えば、事業として参加はできるが、ご利用者が自ら遊びに行くにはまだハードルが高い。(支援者さがし含む) 駅からの行く道、バリアフリー情報などもう一步踏み込んだ案内も作ってみたいだろうか。行きたい人はたくさんいると思う。	くらしの部会
15	30 障害者アーツの推進	休業日を使えば、事業として参加はできるが、ご利用者が自ら遊びに行くにはまだハードルが高い。(支援者さがし含む) 駅からの行く道、バリアフリー情報などもう一步踏み込んだ案内も作ってみたいだろうか。行きたい人はたくさんいると思う。	くらしの部会
16	31 文化活動への支援	休業日を使えば、事業として参加はできるが、ご利用者が自ら遊びに行くにはまだハードルが高い(支援者さがし含む) 駅からの行く道、バリアフリー情報などもう一步踏み込んだ案内も作ってみたいだろうか。行きたい人はたくさんいると思う。	くらしの部会
施策の方向性4 防災・安全・バリアフリーのまちづくり			
施策1 防災・防犯対策の推進			
17	40 避難行動要支援者に対する支援の推進	最近現場では聞かなくなったが、避難行動の個別支援計画はすすんでいるのか。	くらしの部会
18	41 在宅避難支援の推進	当事者一人暮らしなど、避難グッズや非常食をそろえることが難しい方や希望する方に物資の給付をしてほしい。その際に当事者向けの災害時リーフレットを渡したらどうか。	くらしの部会
19	41 在宅避難支援の推進	在宅避難を希望する人が圧倒的に多い。足りない物資、情報などを非難している人に届けるには、支援者がどういったネットワークで支援するのかを示してほしい。また協議の場をもうけ、障害分野の人もそこに含めてほしい。	相談支援部会
20	43 災害時における、共助の仕組みづくりの推進	台東区介護・障害福祉サービス等職員宿舎借上げ支援事業にて区と災害時における安否確認等に関する覚書を締結している事業所があるが、実際の災害時に具体的な活動による安否確認ができるのか疑問である。災害対策上の業務に従事する職員がどのエリアの利用者を何人カバーするかなどより地域で支援対象者が安心できるように事業所と協力できる仕組みがあると良いのではないかと。	相談支援部会
21	43 災害時における、共助の仕組みづくりの推進	BCP(事業継続計画)策定に基づき、福祉関連事業所どうしの防災訓練の実施を行政の立場からも啓発してほしい。	くらしの部会
22	43 災害時における、共助の仕組みづくりの推進	毎年グループホーム入居者と町会の防災訓練に参加している。長時間(3~4時間)にわたる訓練のため、疲れて途中離脱してしまう。もう少し短時間の防災訓練があるといい。	くらしの部会
23	44 二次避難所(福祉避難所)の運営体制の推進	福祉避難所ができれば当事者へのわかりやすい周知をしてほしい。その際各事業所も一緒に周知できたらと思う。	くらしの部会
24	44 二次避難所(福祉避難所)の運営体制の推進	避難行動計画の作成が進んでいるが、当事者からは自宅で避難生活を続けられなくなった時に、二次避難所をあらかじめここ、と決めてあると安心との声が多くあった。事前に行ってみることもできるし、受け入れ側も情報を持つことができ、必要な備蓄品を確保しやすくなると思う。	相談支援部会
基本目標Ⅱ 地域生活支援の充実			
施策の方向性5 相談支援の充実			
施策1 相談支援体制の充実			
25	53 基幹相談支援センター機能の充実	研修や事例検討の取り組み自体は計画通り実施されていると思うが、基幹相談支援センターを中長期的にどのように運営していくのかが相談支援部会の中でイメージが共有化されていない。基幹相談支援センターにも相談支援専門員を複数配置して区内の相談支援事業所間の連絡調整、関係機関との連携の支援について強化していくべき。	相談支援部会
26	53 基幹相談支援センター機能の充実	地域課題を解決していくためには基幹相談支援センターとの連携が重要となると考える。基幹相談支援センターが機能するよう体制を整備してもらいたい。	相談支援部会
27	53 基幹相談支援センター機能の充実	基幹はできるだけケースを持たず、困難ケース等で各相談支援事業所とともに動ける体制を構築してほしい。また他区もおこなっている様な、新人相談支援専門員を各相談支援事業所とともに育てる働きも行ってほしい。	相談支援部会

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
28	53 基幹相談支援センター機能の充実	高次脳機能障害の当事者に特化したサービス拡大を望む。	くらしの部会
29	54 計画相談支援事業所への支援	安定的な運営をサポートするために、報酬算定や加算の要件について個別相談会を設けるなどのサポートがあるとよい。	相談支援部会
30	54 計画相談支援事業所への支援	相談支援事業所は運営面で厳しい。報酬改定で加算が増えてはいるが、現実的には加算に乗らない支援も多い。協働型の機能強化加算の取得など区と協働して検討していきたい。	相談支援部会
31	54 計画相談支援事業所への支援	当事業所の利用者がセルフプランが半分近くいて必要な場合は、台東区以外の相談事業所を探しているため、支援検討する必要があると思う。	就労部会
施策2 地域自立支援協議会の運営			
32	62 地域生活支援拠点の機能の充実	緊急時の受け入れ体制を整えることは大切だが、緊急時前にどれだけ支援できるかがより大切だと思う。体験場所の拡充とPRや、拠点内に限定せず空き家の活用などができるとよい。	相談支援部会
33	62 地域生活支援拠点の機能の充実	地域生活支援拠点コーディネーターの定期的な会合、お互いの活動状況や利用状況を確認しあうミーティングを開催して欲しい。	くらしの部会
34	62 地域生活支援拠点の機能の充実	ぜひSSの整備をしてほしい。	くらしの部会
施策4 住宅相談等の支援			
35	64 住宅セーフティネットの推進	障害を持った方でも安心して暮らせる物件を増やしていくことと、区内で一人暮らしをしていくにも家賃が高いため補助があるとよい。	相談支援部会
36	64 住宅セーフティネットの推進	物価高騰に伴い、家賃も高騰しており、区内で住居を探すことが難しい。	相談支援部会
37	64 住宅セーフティネットの推進	グループホームの退居に当たり、一人暮らしを希望されたため居住支援協議会に相談、居住支援法人を紹介されたが、精神障害があること、家賃の折り合いがつかずほとんど物件紹介されなかったという現状がある。この点、何らかの支援体制が取れないか。	くらしの部会
38	65 単身生活サポート事業	当事業支所の利用者が通貸型GH利用後の事で現在、相談、見守り等の支援の必要性があると感じている。期間を定めのないサポート事業は必要であると思う。	就労部会
施策の方向性6 障害者や家族を支える多様なサービス提要件体制の整備			
施策1 在宅生活を支えるサービスの充実			
39	68 ショートステイ（短期入所）の整備	希望しても利用が困難な状況が続いている。多岐に渡る多くのニーズに対応できるように、事業の拡充をしてほしい。	くらしの部会
40	68 ショートステイ（短期入所）の整備	予約が困難な人が多いと思うので、必要な時に予約がとれるようにしてほしい。	くらしの部会
41	69 医療的ケアに対応する事業者への支援	区内には医療ケアを受け入れる生活介護が2か所（みらいど、松ヶ谷）あるが、人工呼吸器を使用する医療ケアの人を受け入れる生活介護が現状では足りない。また、都内の療育センターは通所については台東区はどことも範囲外となり、送迎が対応されない。療養介護としてもサービスを提供できる事業が台東区に必要だと思う。	相談支援部会
42	70 重症心身障害児（者）等在宅レスパイト・就労等支援事業	近隣区も含めて、救急対応等の緊急時に重症心身障害児者を受け入れる医療体制（入院および通院）のネットワークを整備してほしい。	くらしの部会
43	72 精神障害者への都型ショートステイ事業	精神の方はまだまだ「入院」する方が多いと思うので、職員滞在型のSSがあると安心して考えると考える。	くらしの部会

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
施策2 居住環境の整備			
44	73 身体障害者グループホームの整備	民間では身体障害者のGHとして利用できる場所が確保できない。区や都の土地利用の支援など行政的な支援を強化してほしい。	相談支援部会
45	74 知的障害者グループホームの整備	介護福祉士が行える医療的ケアを、もう少し簡単に東京都に許可して頂き、胃ろう・吸引のできるグループホームを増やしてほしい。	相談支援部会
46	75 精神障害者グループホームの運営	滞在型のGHを増やしてほしい。	くらしの部会
47	75 精神障害者グループホームの運営	女性の滞在型グループホームが区内では見つからない状況。親の高齢化とともに、本人の今後の居住地を考えなければならない人が増えている。	相談支援部会
施策3 日中活動の場の整備			
48	76 (仮称)北上野二丁目福祉施設整備	家族の仕事やレスパイト、本人の寂しさ支援のための通所後に過ごす場所のニーズはある。	くらしの部会
49	76 (仮称)北上野二丁目福祉施設整備	生活介護は個々のニーズに合わせた利用方法に対応していると小規模事業所は報酬が立ち行かなくなってきた。他の日中系のサービス（就労系）も含め現状の把握をしてほしい。	くらしの部会
施策4 障害者の高齢化への対応			
50	78 介護保険サービスへの移行時の支援	日常生活用具の利用だけの場合はダブルケアマネを認める、などサービスの利用内容によって期限付きではなくダブルケアマネを認め、線引きも明確にしてほしい。	相談支援部会
51	79 共生型のサービスの推進	高齢福祉課独自でやっている事業を障害者を含めて利用可能にしてほしい。例えば、家具転倒防止対策の事業、施設入浴サービス事業など。	相談支援部会
52	79 共生型のサービスの推進	共生型の介護保険のデイサービス事業所を増やす取り組みをしてほしい。入浴や機能訓練で障害の人も利用したい。	相談支援部会
53	79 共生型のサービスの推進	現状では事業所側にも利用者側にもメリットがない。	くらしの部会
54	79 共生型のサービスの推進	区内に生活介護事業所増設を検討してほしい。	くらしの部会
施策5 リハビリテーションの実施			
55	80 中途障害者への機能訓練	高次脳機能障害のリハビリも加えてほしい。	くらしの部会
施策の方向性7 障害福祉人材の確保・育成・定着支援			
施策1 サービスを担う人材の確保・資質向上			
56	81 人材確保・定着に向けた取り組みの推進	どの現場も人手が不足しており、必要なサービスに繋がられないケースもある。	相談支援部会
57	81 人材確保・定着に向けた取り組みの推進	相談窓口として弁護士を常駐配置してはどうか。一部の利用者や家族から福祉窓口への過度な要求や暴力的な行為が理由で精神的に追い込まれて退職や休職をする人材も多いと聞く。兵庫県明石市では実際に弁護士を配置したことによりカスタマー・ハラメントが激減したという事例もあるので、窓口として弁護士が話を聞く上で法的根拠を持って説明をすることで課題が過度に拡大することを防ぐことで、働き手の安心にて人材の定着を支えることに繋がるのではないかと。	相談支援部会
58	81 人材確保・定着に向けた取り組みの推進	介護職等就職フェアが定期的に開催されているが、障害分野の職員募集とは参加者がマッチングしないように感じた。障害施設向けの就職フェアがあるといい。	くらしの部会
59	81 人材確保・定着に向けた取り組みの推進	就職フェアは助かっているが、もう少し集客に力を入れてほしい。	くらしの部会

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
60	81 人材確保・定着に向けた取り組みの推進	移動支援が受けられなくて生活が制限されている人がまだまだいる。区独自のヘルパー給付金などを検討してほしい。	くらしの部会
施策2 ヘルパーの養成			
61	84 ヘルパーの養成促進	日中活動や余暇活動の選択肢を広げ、日々の生活を充実させるためには移動支援のサービスが欠かせない。引き続き人材育成と、さらなる待遇改善への取組みを検討してほしい。	くらしの部会
62	84 ヘルパーの養成促進	ガイドヘルパー養成研修の広報活動について、より多くの人の目にとまるようSNS等のウェブ媒体にも力を入れてほしい。	くらしの部会
63	84 ヘルパーの養成促進	10代への呼びかけをしてみたらどうか（養成研修）	くらしの部会
基本目標Ⅳ 自立や生きがいに結びつく就労支援の充実			
施策の方向性11 就労の場と機械の充実			
施策2 就労意欲促進の取り組み			
64	118 成人期の発達障害者への社会復帰相談事業	就労につなげるため、引きこもり支援をふくめた居場所づくりを計画にいらていただきたい。	就労部会
65	119 就労トレーニング	アルバイト中の就労移行の利用を認めることはできないか。就労移行を検討する方の中に「アルバイト中」の方もいる。より安定した正規雇用に向けて訓練を検討をして、見学や体験をしてくださっても、「アルバイトを辞めて就労移行に通う」という決断は収入の面からハードルが高く、利用には至らないことがある。例えば、就労移行がA型、B型や地活から就職を考えている人に面接練習や応募書類添削をしたり、集団プログラムを実施した場合に連携した加算がつくイメージ。	就労部会
施策5 福祉的就労をしている障害者への支援			
66	126 就労継続支援事業所、地域活動支援センターへの支援	地域の事業所間の連携という観点から、事業所間で就労に向けて連携をした際に加算があるとより事業所間の連携に厚みが出ると感じている。例えば、就労移行がA型、B型や地活から就職を考えている人に面接練習や応募書類添削をしたり、集団プログラムを実施した場合に連携した加算がつくイメージ。	就労部会
67	127 移動支援の充実	移動支援で送迎が認められたが、希望時間が重なり受けてくれる事業所がみつからない。 ・場合によってグループ送迎や車両付を認めるなど柔軟な対応をしてほしい。 ・自宅以外の場所からの利用を認めてほしい。通所先から買い物など ・片道の送迎の場合、ヘルパーが迎えに行く時間から稼働として認めてほしい。 ・移動支援の対象者が車いすユーザーというだけでは利用できない。長距離では一人で行くことが困難な人もいるため、対象を拡充してほしい。	相談支援部会
68	127 移動支援の充実	他区・他県の短期入所に繋がった際、本人の送迎に課題がある。ヘルパーを活用したいが、本人との同行時間でない受給は発生しない。そのため、前向きに検討して頂ける事業所がないのが現状。本人と一緒にヘルパーの移動時間も受給内として頂けることで、前向きに検討頂ける事業所がみつかると思います。その他、移動支援での車両利用・臨時タクシー券支給等も検討して頂くことで活用できるサービスが広がっていくと考えます。是非前向きに検討してほしい。	相談支援部会
69	127 移動支援の充実	現在の就労継続支援B型事業所への通所の支援の継続、余暇での習いごとへの支援、通勤や実習なども可能になるように利用を拡充してほしい。	就労部会
70	128 障害者就労施設等からの優先調達推進	浅草や上野あたりにいつでもグッズが買えるアンテナショップを作ったらどうか、観光客の方にも買ってもらえる。各事業所に買いに行くよりは一か所で数事業所のものが買える。	くらしの部会
その他			
71		【日常生活の援助】日常生活用具の給付 物価高騰もあり、給付額と実際の金額に大きな差がある。見直しが必要。	相談支援部会

【各事業所からの意見】 第7期台東区障害福祉計画への意見・質問

No.	主な取り組み	意見・質問など	部会
72		【日常生活の援助】 日常生活用具で、状態に変化が変わる場合、給付でレンタルを認めてほしい。特に特殊マットレス、車いすなどの補装具など期間を決めて1割負担でレンタルができるようにしてほしい。	相談支援部会
73		【日常生活の援助】 訪問入浴サービス 利用できる事業者を1か所ではなく選べるようにしてほしい。希望の曜日時間が合わないとなら利用につながらない。	相談支援部会
74		【在宅生活の充実】 入浴サービスを独自に作ってほしい。送迎付き、人工呼吸器なども対応できるようにしてほしい。	相談支援部会
75		【在宅生活の充実】 入浴施設を借りるサービスを充実させてほしい。たいとう寮だけではなく、特養なども可能にしてほしい。	相談支援部会
76		【在宅生活の充実】 移動支援を受けてくれる事業所が少ない。報酬や加算などを受けてくれる事業者を増やす対策をしてほしい。	相談支援部会
77		【在宅生活の充実】 重度訪問介護 移動加算の考え方を教えてほしい。	相談支援部会
78		【在宅生活の充実】 夜間巡回型など重度訪問だけではない夜間支援を使えるようにしてほしい。	相談支援部会
79		【年齢に応じた支援の推進：学校卒業に向けた支援】 区内の一般校（高校）へ通う障害を持つ生徒の進路相談について、一般校の進路担当教諭は特別支援学校教諭程、障害者への知識が少ないので、進学・就職についてどのような連携を取っているか。学校と連携し個別支援も必要ではないか。	就労部会
80		【報酬の改定について】 毎年のように最低賃金が上昇しており、対応するため2年前にヘルパーの時給を100円上げたが、近々更なる増額が必要になると予想される。人件費を賄うために今後もサービスに対する報酬の改定をしてほしい。	くらしの部会
81		【利用者・ヘルパー高齢化について】 お互いが高齢化しており、安全確保のため常に身体を支える必要がでてくる利用者と、だんだんそれに対応することが難しくなっていくヘルパーがどちらも増えている。移動支援の外出中でも気軽に安全に休憩ができるよう、サービス時間内での室内見守りを認めてほしい。	くらしの部会